

はじめに

「^{かんきょう}環境」とは空や川、空気や水、食べ物や天気などみんなの暮らしに関わる、まわりにあるものすべてをいいます。「環境」はみんなが安心して毎日生活していくためにとても大切なものです。現在の暮らしを未来にわたって続けていくには、「ごみを減らす」、「水を汚さない」など一人ひとりの取り組みが大切になります。

そんな「環境」が今、^{おびや}脅かされています。地球がどんどん暑くなったり（^{ちきゅうおんだんか}地球温暖化）、空気や水が汚れたり、森林や草原が失われ生き物がなくなるといった、いろいろな^{かんきょうもんだい}環境問題が^{ちきゅうきぼ}地球規模で起きています。

そのような中、羽島市では、いま直面している環境問題に対応するため、令和2年度に「^{はしまし}羽島市^{かんきょうきほんけいかく}環境基本計画」をつくりました。

また地球温暖化の原因となる^{にさんかたんそ}二酸化炭素の^{はいしゅつりょう}排出量を2050年までに実質ゼロにする「羽島市ゼロカーボンシティ宣言」を行いました。

今回、みなさんに羽島市の環境をもっと知ってもらい、興味を持ってもらうきっかけになればと思います、この冊子を作成しました。身のまわりで起きている環境問題を少しでも自分の事として考え、できることから取り組んでいただければうれしいです。



羽島市ゼロカーボンシティ宣言文

羽島市ゼロカーボンシティ宣言

～2050（令和 32）年までに二酸化炭素排出量実質ゼロへ～

地球温暖化は、人類の生活基盤に関わる重大な環境問題の一つであり、その原因となる二酸化炭素などの温室効果ガスの排出抑制は、世界共通の課題となっています。身近に私たちの生命や暮らしが脅かされる事態がせまるなど危機的状況にあり、その対策は不可欠なものとなっています。

2015（平成 27）年 12 月に合意されたパリ協定では、「産業革命からの平均気温上昇の幅を 2℃未満とし、1.5℃に抑えるよう努力する」との目標が国際的に広く共有されました。その後 2018（平成 30）年に公表された IPCC（気候変動に関する政府間パネル）の特別報告書では、「気温上昇を 2℃よりリスクの低い 1.5℃に抑えるためには、2050（令和 32）年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにする必要がある」と示されています。

羽島市はこれらの状況を鑑み、市が有する緑豊かで優れた自然環境などを次世代へ引き継ぎ、持続可能なまちづくりを実現するために、市民・事業者等との協働により地球温暖化対策を進め、2050（令和 32）年までに二酸化炭素排出量実質ゼロを目指すことをここに宣言します。

令和 3 年 3 月 12 日

羽島市長 松井 聡

【市民憲章】

わたくしたちの先人は、木曾・長良の水による試練に耐えて、豊かな土地と、すばらしい文化をつくりあげてきました。

わたくしたちは、この伝統ある羽島市民として、限りない誇りと希望をもち、より充実した日々をすごすため、

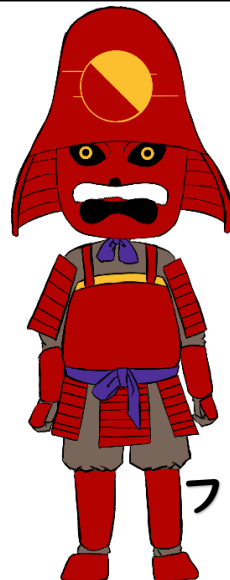
- 1 安全に努め、健康なまちをつくります。
- 1 教養を深め、文化の高いまちをつくります。
- 1 自然を愛し、緑豊かなまちをつくります。
- 1 仕事に励み、活気のあるまちをつくります。
- 1 家庭を守り、心のふれあうまちをつくります。

いっしょに学習していく仲間たち



羽島市に住む男の子。

乗り物好き。



未来からやってきた藤君の息子。

20歳で物知り。

かっちゅう
甲冑は趣味でハイテク。



羽島市に住む女の子。

藤君の友達。

生き物が大好き。